

FOCUS

くら寿司史上最大の店舗 2025年 大阪・関西万博に出店!

2025年4月、大阪・関西万博でくら寿司史上最大かつ、サステナブルを強く意識した店舗を出店いたします。大手回転寿司チェーンで唯一、全店、回転ベルトでお寿司を提供していることから「回転ベルトは、世界を一つに。」をコンセプトに、万博を訪れた世界中のみなさんが笑顔になり楽しい食体験ができる場を提供します。



同店は、当社史上最多となる338の座席、及び約135mの当社史上最長の回転ベルトを設置。内装は、テーブルや柱に白木を、座席には畳シートを使用するなど、ジャパニーズモダンなデザインとなっていて、天井には巨大な回転ベルトと皿のグラフィックが大胆に描かれています。外壁素材には、廃棄予定の赤貝の貝殻、約33.6万枚を再利用しているほか、海藻から作る糊などを使用する“人工物不使用の漆喰(しっくい)”を採用。当社初のサステナブルな店舗となっています。



世界各国のシンボリックな料理を集結!

メニューは、お寿司をはじめ、世界各国のシンボリックなメニューを取り揃えて提供するほか、継続的な水産資源の活用など漁業者様との取り組みにより、お寿司で実現するサステナブル“スシテナブル”なメニューを予定しており、世界の人と食との出会いを通じて、新しいイノベーションが起こるきっかけとなることを目指しています。

この店舗を通じ、日本発祥の素晴らしいビジネスモデルである回転寿司が全世界へと広がることを期待しています。



▶ 連結売上高



(注) 第27期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しており、第26期の数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値になっております。

▶ 連結経常利益



代表取締役社長 田中邦彦

当連結会計年度(2023年11月1日から2024年10月31日)におけるわが国経済は、ウクライナ情勢の長期化に加え、中東情勢の緊迫化、不安定な為替変動などにより、景気の先行きは不透明な状況が続きました。外食産業におきましても、物価高による外食控え、仕入れ価格や人件費の上昇等、厳しい環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、抗菌寿司カバーやお客様が入れ替わるごとに醤油差しなどの備品を入れ替えるクリーンテーブルなど安心・安全に関するさまざまな取り組みを行いながら、「ピックらポン!」や大手回転寿司チェーンの中で唯一、回転レーンでお寿司を提供しているエンターテインメント性を大切に、回転寿司本来の手軽さと楽しさを追求してまいりました。

店舗開発につきましては、国内11店舗、米国14店舗、アジア5店舗の計30店舗を出店いたしました。この結果、当連結会計年度末の店舗数は、全て直営で677店舗(「無添蔵」4店舗、「くらおさかな市場」1店舗、米国64店舗、アジア61店舗を含む)となりました。

セグメント業績は次の通りであります。

▶ 日本

日本国内におきましては、当社の強みである「まぐろ」「かに」など質の高い商品を中心としたフェアの展開、TV放送開始から25周年となる人気アニメ「ONE PIECE」など話題性の高いコンテンツとのコラボ企画の実施により、売上高は好調に推移いたしました。

また、当社の強みである現場力を生かし、経営と現場が一体となって、個々の商品ごとにきめ細かな商品設計を適宜行うことで、原価率の低減に努めました。タッチパネルの更新など次年度以降を見据えた戦略的な先行投資も実施いたしました。

この結果、売上高1,742億73百万円(前年同期比6.2%増)、経常利益65億69百万円(前年同期比375.5%増)となり、大幅な増収増益となりました。

▶ 北米

米国子会社 Kura Sushi USA, Inc. (KSU)におきまして

は、米国経済の減速で同国内の多くの外食企業が影響を受けている中、コラボ企画などを展開し売上高は回復傾向にあるものの、売上高、利益ともに軟調に推移いたしました。一方で、積極的な新規出店は継続的に実施し、ニューヨーク州スミスペンモール店など14店舗となりました。

この結果、売上高358億66百万円(前年同期比38.1%増)、経常損失10億41百万円(前年同期は経常利益2億47百万円)となりました。

▶ アジア

台湾子会社 亞洲藏壽司股份有限公司(KSA)におきましては、日本でも大変話題となった「ちいかわ」とのコラボ企画などによりお客様に大変ご好評をいただきました。また、沙鹿中山路店、頭份運動公園店など5店舗を新規出店いたしました。一方、組織強化のための投資に加え、人件費や光熱費の上昇による影響を受けました。

この結果、売上高251億26百万円(前年同期比16.5%増)、経常利益9億15百万円(前年同期比37.5%減)となりました。

なお、当連結会計年度において、日本・北米・アジアにつきましては減損損失を計上しております。

当社グループの保有する固定資産のうち、収益性の低下がみられた店舗について、将来の回収可能性を検討した結果、帳簿価額を回収可能価額まで減額いたしました。

日本におきましては11億99百万円、北米におきましては2億34百万円、アジアにおきましては3億14百万円の合計17億48百万円の減損損失を特別損失に計上しております。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高2,349億50百万円(前年同期比11.1%増)、経常利益62億24百万円(前年同期比115.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は32億26百万円(前年同期比273.7%増)となり、大幅な増収増益となりました。

株主の皆様には、一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

業界初! 回転レーンを活用したサプライズサービス「プレゼントシステム」を導入

2024年11月、回転レーンを活用した施策として「プレゼントシステム」を一部店舗より順次導入を開始しました。本サービスは、パレードのようにポップな音楽にのせて、輝



く装飾と中身の見えない仕様の抗菌寿司カバー「鮮度くん」に入ったスペシャルメニューのケーキやスイーツが回転レーンを流れ、お客様の元へ届くというものです。色々なシーンで気軽にご利用いただければと考えています。今後も、回転寿司ならではの「お寿司が回る楽しさ」を基盤に、幅広いお客様に楽しんでいただけるサービスを展開していきます。



米 国

米国では積極的な出店を進めており、当期(2024年8月末まで)は14店舗の出店となり、2009年の初出店以降、64店舗となりました。2024年9月には、オレゴン州「ビーバートン店」、ワシントン州「タコマモール店」がオープン。たくさんのお客様にご来店いただいています。今後も全米の主要な都市において、積極的な出店を進めてまいります。



▲ビーバートン店



▲タコマモール店

アジア



2024年11月に台湾新北市に「板橋遠科店」をオープンするなど当期(2024年9月末まで)は5店舗の出店となりました。2014年の初出店以降、アジアで61店舗となりました。2024年7月には「名探偵コナン」、同年9月には日本でも大変話題となった「ちいかわ」とのコラボ企画も展開し、お客様に大変ご好評をいただきました。

◀ 板橋遠科店

株主優待制度の廃止に関するお知らせ

当社は、より多くの株主様に当社事業へのご理解を深めていただくことを目的に、毎年4月末日を基準日として同年7月に株主優待を実施しておりましたが、この度、配当を含めた株主の皆様への公平な利益還元のあり方という観点から、慎重に協議した結果、株主優待制度を廃止することといたしました。

今後も株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題と位置づけ、株主の皆様との対話を通じ、あるべき利益還元について検討し、企業価値の向上に取り組んでまいりますので、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

(お問い合わせ先)くら寿司IR部 072-493-6189

Corporate & Stock Info 会社&株式情報 (2024年10月31日現在)

商号 くら寿司株式会社
創業 1977年5月 会社設立 1995年11月
代表者 代表取締役社長 田中 邦彦
事業所 本社 / 堺市中区深阪1丁2番2号
埼玉事務所 / 埼玉県日高市馬引沢345番1
中野事務所 / 東京都中野区中野3丁目33番3号 インツ中野ビル
梅田事務所 / 大阪市北区梅田1丁目11番4号 大阪駅前第4ビル
貝塚事務所 / 大阪府貝塚市小瀬188番地
大阪センター / 堺市中区深阪1丁2番2号
埼玉センター / 埼玉県日高市馬引沢345番1
福岡センター / 福岡県糟屋郡宇美町ゆりが丘2丁目14番1-1号
貝塚センター / 大阪府貝塚市小瀬188番地
店舗 / 国内:552店舗 海外:125店舗 総計677店舗
取引銀行 三井住友銀行 三菱UFJ銀行 紀陽銀行 みずほ銀行 京都銀行

役員 (2025年1月29日現在)

代表取締役社長 田中 邦彦
取締役副社長 田中 信二
専務取締役 尾越 健二
取締役 田中 節子
取締役 岡本 浩之
取締役 藪内 薫
取締役 勝見 哲平
取締役 榎本 弘一
取締役(常勤監査等委員) 山本 保
取締役(監査等委員) 大田口 宏
取締役(監査等委員) 北川 洋士

注)榎本弘一氏、大田口宏氏及び北川洋士氏は、社外取締役であります。

株式の状況

発行可能株式総数 160,000,000株
発行済株式の総数 41,399,600株
株主数 44,344名
大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社ウォルナットコーポレーション	11,642,000	29.3
田中 信	4,000,000	10.0
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,982,700	7.5
株式会社トラスト	1,900,000	4.7
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,463,400	3.6
くら寿司従業員持株会	731,300	1.8
田中 邦彦	640,000	1.6
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE HCR00	544,400	1.3
田中 節子	480,000	1.2
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(退職給付信託口・株式会社紀陽銀行口)	384,000	0.9

注) 1. 当社は、自己株式を1,660,997株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株式基本情報

事業年度 毎年11月1日から翌年10月31日まで
定時株主総会 毎年1月に開催
基準日 ■定時株主総会/毎年10月31日
■期末配当金/毎年10月31日
■中間配当金/毎年4月30日
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
受付時間 9:00~17:00 (土日休日を除く)
(インターネットホームページURL) <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>
公告方法 電子公告 <https://www.kurasushi.co.jp/>
ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
上場証券取引所 株式会社東京証券取引所 プライム市場